

今日のトピック 最近の指標から見る米国経済（2017年11月）

個人消費と設備投資を軸に拡大を継続

ポイント1 雇用は増加基調を維持 年末商戦の見通しも良好

- 2017年10月の非農業部門雇用者数は前月比26.1万人増となりました。ブルームバーグ集計による市場予想の同31.3万人増を下回りましたが、9月実績が速報値の同3.3万人減から同1.8万人増に、5.1万人ほど上方修正されたことを考慮すると、ほぼ市場の予想通りだったといえます。
- 良好な雇用・所得環境を背景に、感謝祭（今年は11月23日）の翌日から始まった年末商戦の見通しも良好です。全米小売業協会（NRF）によれば、17年の年末商戦は前年同期比3.6%～4.0%の増加が予想されています。一昨年と同3.2%増、昨年と同3.6%増を上回る見込みです。

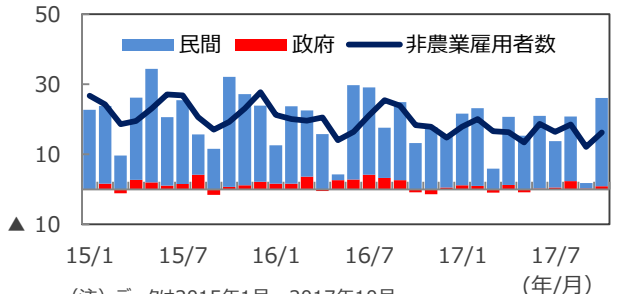
ポイント2 +3%程度の成長を持続 個人消費と設備投資が揃って拡大

- アトランタ地区連邦準備銀行が、リアルタイムの経済成長率を捉えるために開発した経済モデル「GDPナウ」によると、17年10-12月期の米実質GDP成長率は前期比年率+3.4%と、7-9月期の同+3.0%から加速する見通しです。車の両輪に相当する個人消費と設備投資が、揃って拡大基調にあるからです。

今後の展開 緩やかな利上げを継続へ

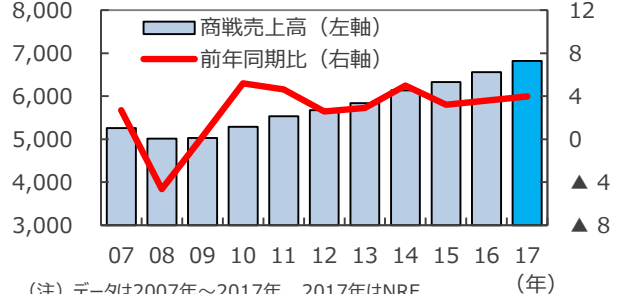
- 米経済が完全雇用の状態に到達したと見られることを踏まえると、12月12日～13日開催予定の米連邦公開市場委員会（FOMC）では0.25%の利上げが決定されると考えられます。その後も利上げは継続される見込みですが、インフレが低い水準で落ち着いているため、そのペースは緩慢と予想されます。

【非農業雇用者数の推移（前月比増減）】



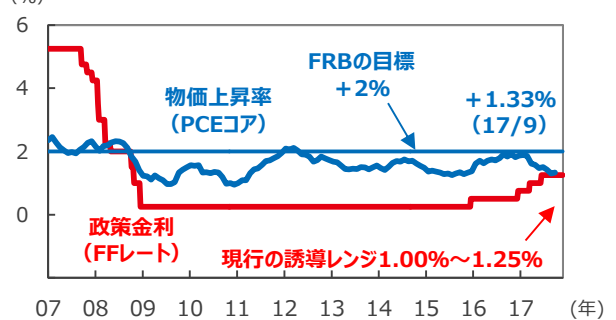
(注) データは2015年1月～2017年10月。
(出所) 米労働省のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

【年末商戦の売上高推移】



(注) データは2007年～2017年。2017年はNRFによる予測値。
(出所) 米国商務省、NRFのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

【政策金利と物価上昇率の推移】



(注1) FFレートは2007年1月5日～2017年11月27日。週次データ。2008年12月以降のFFレートは誘導レンジの上限を表示。
(注2) 物価上昇率は2007年1月～2017年9月。PCE（個人消費支出）コア物価指数の前年同月比。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここもチェック! 2017年11月27日 『FOMC議事要旨』、引き続き物価動向を注視 2017年11月21日 『ブラック・フライデー』は今年も好調な見通し

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。